

國學院大學學術情報リポジトリ

〔取り組みレポート〕 法学部フェロー制度を利用したレポート課題について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 高橋, 信行 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00002121

法学部フェロー制度を利用したレポート課題について

高橋 信行

【要 旨】

法学部フェロー制度を活用したレポート課題の実施について、その手法と効果について分析する。

【キーワード】

フェロー、レポート課題、行政法、個別指導、アンケート

1. フェロー制度を利用したレポート課題について

法学部では、教育開発推進機構の「学部学修支援推進事業」による予算措置を受けて、「フェロー（専門型TA）を用いた法学部学生に対する個別的学修支援」を2014年度から実施している。その活用方法については模索が続いているところであるが、2016年度の「行政法1」（通年4単位・高橋信行担当・履修者290名）では、レポート課題とフェローの指導を組み合わせることで、より高い学修効果が得られるかを分析することにした。この取り組みレポートでは、受講生に対して実施したアンケートを基に、フェロー制度の活用の効果と今後の課題について紹介する。

2. 「行政法1」レポート課題について

「行政法1」で実施したレポート課題では、単にレポートを執筆するのではなく、フェローの指導を受けることを推奨したところ、約半数近くの受講生がフェローの指導を受けて、一定の教育的効果が認められた。

具体的には、事例式のレポート課題を出題し、レポートを提出する前にフェローの指導を受けることを推奨した。フェローの指導を受けることは必須ではないが、レポートの内容が不十分である場合にはレポート点（10点）を付与しないと伝えることで、間接的に指導を受けることを勧めたのである。

このレポートでは、行政法総論の主要テーマである「裁量の逸脱・濫用」に関する事例問題を出題した。同様の事例問題は期末試験でも出題するので、期末試験に向けた練習としての側面も有する。行政法1のような大講義（履修者200名以上）では、どうしても個別に受講生を指導することは難しいので、フェローを活用することが必要となる。

3. フェローによる指導体制について

法学部のフェロー制度では、5名のフェローが交代で勤務しており、専門も区々である上に行政法を専攻している者がいなかったことから、均一的で確かな指導を実施することに困難が予想された。そのため、フェローによる指導を標準化するために、レポートの「解説」（指導に際して留意すべきポイント）を予め作成した。フェローには、受講生が持参したレポートを読んだ上で、この解説に即して指導を行うことを求めた。この「解説」には指導の際のポイントの他、模範解答や良い例・悪い例なども挙げている。学生が陥りやすいミスを挙げることで、効率的で効果的な指導を行えるように工夫した。

4. アンケート結果について

授業時間中にレポート課題に関するアンケート調査をK-SMAPY上で実施した。そのデータと集計・分析した結果については【資料】にまとめてある。以下、特に注目すべき点について説明する。

(1) 「行政法1」（火2）の履修者290名中、アンケートに回答した者は224名であった。アンケート回答者のうち、レポートを提出した者は180名、フェローの指導を受けた者は105名であった（設問1・設問3）。フェローの利用者は履修者の3分の1にとどまったが、それでも、締め切り間際にはフェロー室が非常に混雑したことから、現実には290名の学生全員がフェローを利用するとなると、さらに混雑がひどくなると予想される。

(2) フェローの指導を受けなかった者にその理由を聞いたところ、「フェロー室が混んでいた」「指導を受ける時間がなかった」との回答が合わせて67人に上った（設問4）。アルバイトやサークル活動、他の授業との兼ね合いで、学生がフェロー室を訪ねることができる時間帯が限られていると思われる。結果的に、特定の曜日や時間帯に利用者が集中してしまい、混雑の原因になっていると考えられる。抜本的な解決策としては、フェローを増やしたり、開室時間を延ばしたりするといった対策が必要であろう。なお、2017年度からは、予算が増額されたこともあって、フェローは10人体制（1日2人×5日間）となったので、混雑緩和が期待できる場所である。

(3) 興味深いのは、「フェローの指導を受けるのが怖い」と回答した者が25人いたことである（設問4）。その理由を自由回答欄から推測すると、「3年生にもなったりレポートの書き方がわからず、だからこそフェローに行って指導を受けるべきなのだとは思っていても、見放されるのではと怖くてフェローに行けませんでした」という意見が参考になると思われる。すなわち、フェローにあまりに基礎的な質問をすると、自分の不出来ゆえに、逆に

怒られるのではないか、という不安を一部の学生は感じているようである。

しかし、どのような質問であっても親切丁寧に対応するようにフェローに指示しているし、実際にも、フェローの指導は学生たちに好意的に受け止められているので、このような不安を感じる必要はないことは言うまでもない。また、フェロー制度は元々、大教室での講義についていけない受講生（比較的学力の劣る者）の学修を支援するために設けられたのであるから、これらの学生がフェロー室を訪れてくれないと、制度の存在意義が失われてしまうだろう。それゆえ、学生が抱く不安感を払拭できるように、繰り返しフェローの利点を説明することが重要となる。

(4) フェローの指導を受けた回数・指導時間については、それぞれ「1回」「20-40分」と回答した層が最多であった（設問8）。比較的簡単な内容のレポートであったため、指導時間も短くて済んだと思われるが、やはり締め切り間際にはフェロー室が混雑していたため、十分な指導を受けられない者もいたようである。

現実問題としては、現在のフェローの人員を踏まえると、あまり複雑でかつ量の多いレポート課題を出題するのは難しいと思われる。レポートの文字数を600字-1000字程度に抑えて、比較的執筆と添削が容易な範囲での出題が望ましいだろう。

(5) フェローの指導を受けた効果については、レポートの内容が「とても良くなった」「少し良くなった」と回答した者が合わせて81名に上った（設問9）。また、フェローの指導について「とても満足した」「満足した」と回答した者が合わせて90名であった（設問10）。フェローの指導を受けた者の8-9割が高い評価を与えていることが分かるだろう。

実際に提出されたレポート内容をチェックすると、十分な質が確保されていることが確認できた。例年、明らかにポイントを外したレポートや文法・語彙の誤りの多いレポートが散見されていたが、今回は、フェローによる指導を経た後に提出されたので、このようなレポートは皆無であった。

(6) 他の講義でもフェローを利用したいか否かを質問したところ、「頻繁に受けたい」「受けたい」と回答した者が合わせて170名に上った（設問11）。フェローの利用が法学部全体にはまだ広がっていないが、一部の講義で先行的にフェロー制度を活用することにより、他の講義にも波及効果が及ぶと考えられるだろう。

5. 今後のフェロー活用策について

(1) 受講生が100名を超えるような大教室での講義では、レポート等の課題についてフェローの指導を受けるように求めると、フェロー室が非常に混雑してしまうおそれがある（特に課題提出の締め切り間際）。

このような混雑を避けるためには、複数のフェローが分担して指導を担うことが望ましいが、その場合には、フェロー毎に指導内容・方針が異なってしまうといった問題も起きる。そこで、指導内容を均一化するために、また、専門外の事項についても指導できるように、この「行政法1」のレポート課題で実施したように、具体的な指導指針（指導に際してのポイント）を作成する必要があると考える。

また、同一講義内でも、課題の締め切りを別々に設定する（例えば、2年生については5月末締め切り、3年生については6月末締め切りとする）といった工夫をすることで、フェロー室の混雑を回避できると考えられる。このような工夫も今後は実施していきたい。

(2)フェロー制度は、多くの学生にとって「敷居の高いもの」と捉えられているようである。自由回答欄には「フェローは、ある程度出来の良い人が行くイメージがあって、自分の学力に自信がないのでフェローを尋ねにくい」とか「フェローさんに見せる自信が無かったため、躊躇していたら行けなかったため、今後はできない点を整理した上で、利用してみようと反省した」といった意見が寄せられていたが、特に学力の劣る学生ほど、自分に自信が持てず、あるいは怒られることを恐れて、フェローの指導を受けることを躊躇してしまうようである。

しかし、実際にフェローの指導を受けた学生の回答を見ると、満足度が非常に高いことから、一度フェロー室を訪れるとその効果に気づいてくれるようである。そのため、フェローの利用を促すためには、最初のうちは、半ば強制的にフェローの指導を受けなければならないような仕組みにすることも考えられるだろう（例えば、レポートの提出に際しては、フェローの指導を受けることを必須要件とするなど）。

(3)フェロー制度を活用する際には、教員側も相当の努力をする必要があると考えられる。特に指導指針の作成にはかなりの時間がかかる上に、教員とフェローが密に連絡を取る必要もあることから、フェローの活用は必ずしも容易ではない。しかし、今回のアンケート結果から分かるように、フェローの指導を受けた学生はより一層勉学に励むきっかけを得ていると考えられることから、コストに見合ったメリットは十分享受できると言えるだろう。

これからの法学部の教育では全体の底上げを図ることが不可欠となるが、そのためにはフェローによる個別指導が極めて効果的であると考えられる。この分析結果を参考にして、法学部の教員間でフェローの活用がさらに広まることを期待したい。

【資料】

設問1 行政法1のレポート課題（墓地埋葬法の事例問題）を提出した？

提出した	提出しなかった
180	44

設問2 問1で「提出しなかった」を選んだ人だけ回答してください。レポート課題を提出しなかった理由を教えてください。

レポート課題の存在を知らなかった	レポートを書く時間がなかった	レポートを提出しなくても単位を得る自信があった	レポート課題が難しく手がつけられなかった	行政法1の単位を諦めている	その他
1	10	0	25	0	8

設問3 レポート執筆に際してフェローの指導を受けた？

受けた	受けなかった
105	119

設問4 問3で「受けなかった」を選んだ人だけ回答してください。フェローの指導を受けなかった理由を教えてください

フェローの存在を知らなかった	フェロー室が混んでいた	指導を受ける時間がなかった	指導を受ける必要がなかった	指導を受けるのが怖かった	その他
0	22	45	4	25	18

設問5 フェローの指導を受けた理由を教えてください。（複数回答可）

教員の強い勧めがあったから	フェローに前々から興味があったから	より良いレポートを書きたかったから	友人からフェローの評判を聞いたから	その他
51	15	76	5	2

設問6 問5で「その他」を選んだ人は具体的に理由を書いてください。

*回答なし

設問7 フェローの指導を受けた回数を教えてください。

1回	2回	3回	4回以上
62	27	7	6

設問8 フェローの指導を受けた時間を教えてください。(複数回指導を受けた場合には指導時間の合計を回答してください)

10分未満	10-20分	20-40分	40-60分	60-90分	90分以上
5	25	49	16	6	5

設問9 フェローの指導を受けた前後で、レポートの出来は良くなったか?

とても良くなった	良くなった	少し良くなった	変わらなかった
35	46	22	3

設問10 フェローの指導を受けて満足したか?

とても満足した	満足した	普通	不満であった	とても不満
43	47	13	1	1

設問11 今後、他の講義での課題や試験について、フェローの指導を受けたいと思うか?

頻繁に受けたい	受けたい	どちらともいえない	受けたくない
47	123	50	4

設問12 フェローに関する不満があれば回答してください(複数選択可)

フェロー室が混んでいる	指導時間が短すぎる	指導内容が分かりにくい	質問に的確に答えてくれない	開室時間が短すぎる	その他
35	8	4	3	21	9

設問13 問12で「その他」を選んだ人は具体的に書いてください。(主な意見のみ掲載)

- *先生によって意見が分かれているのが困った。
- *行政法専門のフェローがいて欲しい
- *予約した時間に正確に始まらず、次の授業に遅れそうになった。
- *フェローの質にばらつきがあると思う

設問14 フェローに関する感想や改善意見等、自由に記述してください。

(主な意見のみ掲載)

- *とてもフレンドリーに接してくれて良かったです。
- *一般論とあてはめの区別のように初歩的な事から躓いてしまっていたのですが、最後まで丁寧に見て頂き、非常に参考になりました。初めに大まかな流れを教えて頂いて、細かい所は自分でしっかりと勉強を書き上げたので、授業の復習にもなり理解が深まりました。

- *少し褒めてもらえたことで自信がついた。
- *これからは頑張っって勇気を出していきたいと思います。
- *フェローさんに見せる自信が無かったため、躊躇していたら行けなかったため、今後はできない点を整理した上で、利用してみようと反省した。
- *基礎的なことも良く分かっていないまま指導を受けに行ったのに丁寧に教えてくれてかなり助かった。
- *レポートで聞かれていることを的確、かつ、具体的に教えてくださり、レポートの構成がかなりイメージしやすくなった。また、質問にも丁寧に答えてくださり、更に深い考えを持てるようになりました。
- *どうしても空いている時間が少ないので、確実に受けられるように複数人が受けられるような体制にしてほしいです。
- *今回の課題レポートは書き方がそもそもわからなかったのでフェローで指導していただき、提出できるだけのものにできたと思っているので大変ありがたかった。
- *具体的にどこを修正したほうが良いか教えてもらいレポートをしっかりと修正することができた。また仕組みや根本的なことを教わることができたのはよかった。
- *フェローは、ある程度出来の良い人が行くイメージがあって、自分の学力に自信がないのでフェローを尋ねにくい。
- *フェローによって、言っていることに矛盾が見えた。
- *フェローによって質問の答えが違う事があって、混乱したことがありました。
- *締め切り間際に行ったため、非常に混雑していました。もっと早くフェローを訪ねるべきであったと反省しています。
- *授業前後やオフィスアワーは時間が限られているが、フェローがいるとそういうことに左右されずに質問をすることができてとてもいい。
- *3年生にもなってレポートの書き方がわからず、だからこそフェローに行って指導を受けるべきなのだとは思っていても、見放されるのではと怖くてフェローに行けませんでした。